

米州投資公社が発行する「トランジション・ボンド」への投資について ～中南米・カリブ海諸国における脱炭素社会への移行を支援～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、米州投資公社（以下「IDB Invest」、ムーディーズ：Aa1、スタンダード＆プアーズ：AA）が発行する「トランジション・ボンド」に投資を決定し、総額100百万米ドル全額を購入しました。本債券の受け渡しと資金決済が6月11日に完了しましたので、その概要をお知らせします。

本債券の調達資金は、中南米・カリブ海諸国における加盟諸国の民間企業への投融資を通じて脱炭素社会への移行と経済・社会発展に寄与するプロジェクトに充当される予定です。

IDB Investは、脱炭素への移行をめざす企業を支援しており、気候関連の目標達成や技術変革、新しいビジネスモデル実現のための資金を提供することで、中南米・カリブ海諸国における加盟諸国の民間企業が効率的に気候変動リスクに対応することが期待されます。

IDB Investが脱炭素社会への移行を資金使途として発行する債券に、本邦金融機関が投資を実行するのは初めての事例となります。

当社は、国際機関等へのESG投融資を通じて、開発途上国等の気候変動リスクへの対応を支援することにより、グローバルな視点での脱炭素社会の実現に貢献いたします。

また、当社は、「ESG投融資方針」（注1）に則り、資産運用業務においては、国連責任投資原則（PRI）への署名などを通じて、資産特性に応じたESG投融資手法を確立することを推進しています。引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なってまいります。

【本債券の概要】

発行体	米州投資公社（IDB Invest）	
発行体概要	・中南米・カリブ（LAC）加盟諸国の民間企業に対する投融資を通じて域内経済の発展に寄与することを目的として1986年に設立 ・LAC加盟諸国の経済・社会発展に貢献することを目的とする米州開発銀行（IDB）、民間投資を促進するため技術協力や零細・中小企業育成等を行なうため設立された多数国間投資基金（MIF）からなる米州開発銀行グループの一員	
社債の発行・購入額	100百万米ドル（約110億円）	
資金使途	脱炭素社会への移行をはじめとした、LAC加盟諸国の経済・社会・環境面での発展を実現するために、持続可能な企業やプロジェクトに資金提供（注2）	 ©IDB Invest
払込期日	2021年6月11日	
償還期日	2031年6月11日（10年）	
発行利率＜年率＞	1.69%	

対応する SDGs 目標	  
--------------	--

(注1) 2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf

(注2) 本債券によって調達された資金は、Sustainable Debt Framework(以下「SDF」)において Green Project Categories に分類される適格プロジェクトに用いられる予定です。SDF の概要やセカンドパーティーオピニオンは、www.idbinvest.org/en/investorsにてご確認いただけます

以 上